

令和7年度第2回三重県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和8年3月9日(月) 10:00～11:30

場所：三重労働局 地下会議室

【議事】

(1) 令和7年度公的職業訓練実施状況について

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局から資料に沿って令和7年度の公共職業訓練及び求職者支援訓練の受講者数等の実施状況について説明した。

本年度は、デジタル系訓練や求職者支援訓練の基礎コースの実施状況が昨年度比較で着実に充実されたものとなったこと、職業体験型イベントや動画コンテンツの活用などを通して若年層やミドル層への職業訓練の周知に努めたこと等のほか、性別や年齢別での受講状況等に基づく課題や傾向に注視する必要があること等を説明した。

<主なご意見・質問>

- 職業訓練への周知の重要性は議論の余地のないところであり、これまで取り組んだ多様な周知等の具体例を示していただきたい。

(回答)

ハローワークにおける定期的な訓練説明会の開催、雇用保険説明会での周知、LINE等SNSを活用した求職者への周知、及び商業施設等での周知活動に努めてきている。

- 職業訓練が中止となったものが昨年より少し多くなったが、周知はどうしているか。

(回答)

さまざまな機会を通じて周知を行うことで、訓練を必要とされる方への的確に情報が行き渡るように周知の強化に努めたい。

- 企業が求める技術やスキルは流動的であり、すべての分野での完璧な対応は困難である。訓練の受講者率など数字を上げることを過度に目的化するのではなく、受講者の満足度を高めていくことこそが重要である。
- DXやAIなど社会の状況に見合った内容を取り入れつつ、企業の声を丁寧に拾っていくことが重要である。

(2) 令和8年度三重県職業訓練実施計画について

令和7年度三重県職業訓練実施計画における課題の現状及び令和8年度の新たな課題を整理し、それらの対応策について労働局から説明。令和8年度計画のねらい等についても労働局から説明し、訓練種別の対象者数等については、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局それぞれから説明を行った。

<主なご意見・質問>

- 労働者不足が見受けられる介護・医療・福祉分野では受講率が改善してきているものの、さらに関係者と連携した説明会や体験会を通じて、より多くの方が受講するよう努められたい。併せて、受講者を増やす具体的な対応を考えているのかをお示しいただきたい。

(回答)

通常の窓口での案内紹介と併せて雇用保険説明会での訓練担当者による個別説明や訓練校が定期的にハローワークに来庁してマンツーマンでその良さ等を求職希望者に直接伝えることを積極的に実施している。また、求職希望者が訓練校に出向き、実際に介護体験や授業風景を見学したり、卒業生の体験談を聞くことでより身近に実体験し、興味をいただく機会を設けている。

- 公的職業訓練効果検証結果を踏まえた各種取組に記載された介護・医療・福祉分野でのコミュニケーション能力の向上の取組の具体策として、コンテンツの充実やビジネスマナーを含めた喋り方等の充実を考えているのか。

(回答)

介護施設の見学及び体験会の実施機会の充実やグループワークを中心に据えた実践的な取組を考えている。

- 就職率の年齢による推移傾向を教えてください。併せて、昨年夏実施のアンケート結果を今後どのように生かしていくのかを伺いたい。

(回答)

業種の分野を問わず、年齢30代が最も高く、年齢が高くなるにつれて徐々に下がっていく。また、アンケート結果では、コミュニケーション力や生成AI等分野を重視する回答が多くあり、それに適応できる訓練内容となるよう訓練コースを計画している。また、特定の業種によらず基礎的なデジタルスキルの習得が幅広い職種で必要との企業ニーズに答えるため、それらに適応できる訓練内容となるよう訓練コースに磨きをかけていく。

- 若い層の就職率が上がるよう実施面で配慮していくことが重要である。
- 三重県が抱える固有の課題をどう捉え、どのように対応していくか伺いたい。また、経験に培われた能力を活かした習熟度や年代を勘案し、訓練内容と受講者とのマッチングをしてみてはどうか。

(回答)

基礎コースの充実やデジタル分野への対応が三重県の固有の課題であると認識している。このため、基本的なコミュニケーション能力に地域特性も踏まえたデジタルスキルを付加したものが必要となる。また、初心者を対象に受講しやすい訓練内容が現状では多くあるものの、習熟度や年代を勘案しながら受講勧奨を工夫して対応していきたい。

(3) 令和8年度公的職業訓練効果検証ワーキンググループについて

労働局から令和8年度の公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング対象分野について提案。

<検証対象分野>

- ・ 介護・医療・福祉分野

<理由>

- ・ ハローワークの強化とさらなる取組が介護・医療・福祉分野の人材確保に必要とされていること
- ・ 介護・医療・福祉分野の恒常的な人手不足を解消するには、人材育成のための訓練受講率向上に取り組む必要があること
- ・ 業界のDX化の進捗に見合った訓練内容を適宜提供する必要があること

<検証事項>

- ・ 受講率を高めるための要素・改善部分
- ・ 求人者が求める人材像・スキル等 等

<主なご意見・質問>

- 保育分野も同様にエッセンシャルワーク的な要素があるので、今回の検証対象分野での対象として捉えているのかを伺いたい。また、私立保育園については現状の充足率やその対処についても考慮していただきたい。

(回答)

検証対象分野としての福祉分野には、保育の分野も含めている。また、令和8年度から医療・福祉ささえる求人充足プロジェクトを実施していくので、保育分野も含め事業所との密な連携を推進していきたい。

- 令和8年度三重県職業訓練実施計画案については提案のとおり承認された。
- 令和8年度公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング対象分野は事務局提案の「介護・医療・福祉分野」で承認された。